

～新型コロナウイルス感染拡大から学ぶ～

### 感染症に備える

## 医療機関との連携強化で 区民の安心をつなぐ

- 足立区医師会休日応急診療所、区内2次救急医療機関と連携し、感染症の流行など**非常時にも対応できる休日応急診療所**を設置する。
- 麻疹やインフルエンザ等感染症が疑われる患者が適切な医療機関で受診できる体制を構築する。

足立区の新たな感染症対策の考え方



#### ■休日応急診療所

- 一般患者と感染症が疑われる患者の診察室や動線を**明確にゾーニング**
- 感染症診療室は、室内の空気が外部に流出しないように気圧を低くする**陰圧管理**や、ウイルスの拡散を防止する空気清浄機（**クリーンパーテーション**）を導入し、診療所内の**感染症対策を強化**

#### ポイント① 感染症

#### ■施設全体

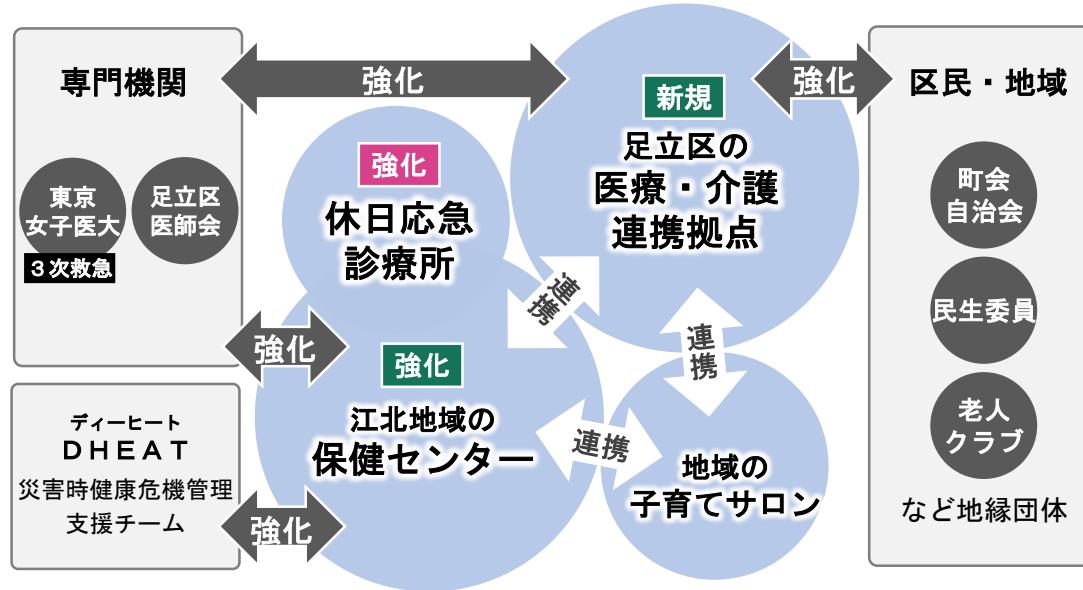
- 自然換気と機械換気**を併用した室内環境
- ICT活用**した事前予約などにより、利用者の利便性に配慮しつつ、混雑を回避（**3密対策**）

## 日常から高度医療機関と連携

- 保護者の自主グループ活動に専門医を招くなど、**低出生体重児の生活や医療のアドバイス**を行う
- 東京女子医大と連携し、**がん患者等の支援**を行う
- 医療的ケア児**を支援する取組みを検討中

# 「もしも」に備えた 医療・介護・健康の拠点

～ 感染症、災害、健康寿命、高齢者の生活～



保健センター、医療・介護連携拠点、休日応急診療所、子育てサロン等が、「健康」をキーワードに連携し、区民や地域団体が集う「まちの居場所」をつくる。

#### 設計コンセプト

- 日常の「健康」を支えつつ、非日常の「もしも」に備える 拠点づくり
- ひとりでもみんなでも 心地よい居場所づくり
- 小規模な講座から大規模なイベントまで 多様な使い方ができる空間づくり

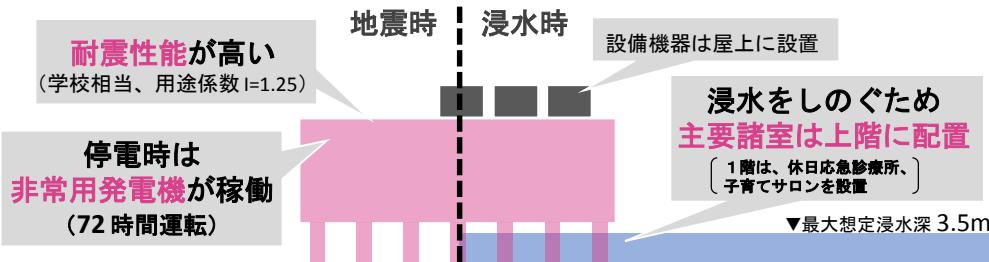
～台風19号（令和元年東日本台風）から学ぶ～

### 災害に備える

## 地震に耐え、浸水をしのぎ、区民の命を守る

- 乳幼児・妊産婦など**配慮が必要な区民が緊急避難できる施設**として活用する
- ディーヒート**
- DHEAT**（災害時健康危機管理支援チーム）の活動拠点として発災時から機能する施設とする。

#### ポイント② 災害

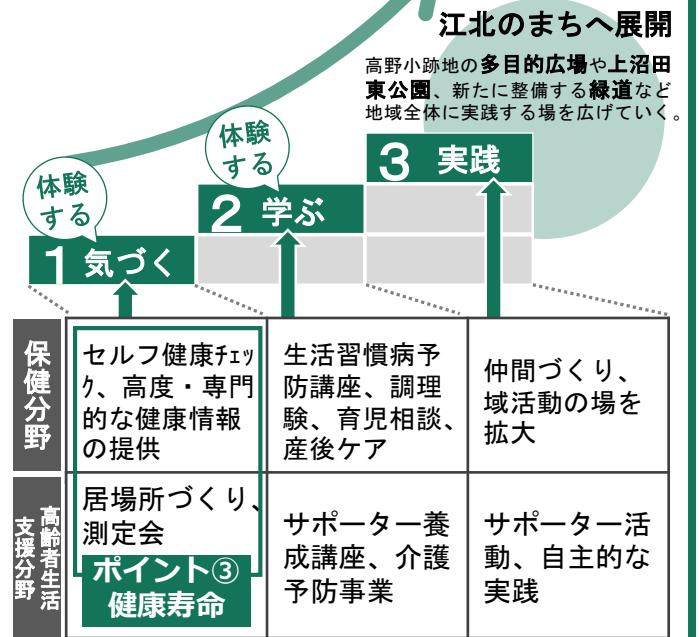


※ 今後、地域防災計画との整合性を危機管理部と調整

### 健康寿命を支える

## 3ステップで健康寿命の延伸に貢献する

「気づく」「学ぶ」「実践」の3ステップで、**区民の健康意識を高めるとともに、周囲の人や地域の健康を支える担い手を育てる。**



江北のまちへ展開  
高野小跡地の多目的広場や上沼田東公園、新たに整備する緑道など地域全体に実践する場を広げていく。

### 高齢者の生活を支える

## 切れ目のない支援で、高齢者の安心を高める

- 基幹地域包括支援センターや区の高齢者支援関係部署を配置し、**施策や事業の拠点として対応力を強化**する。
- 研修等を通して医療・介護従事者、地域包括支援センター職員のスキルアップに取り組む。

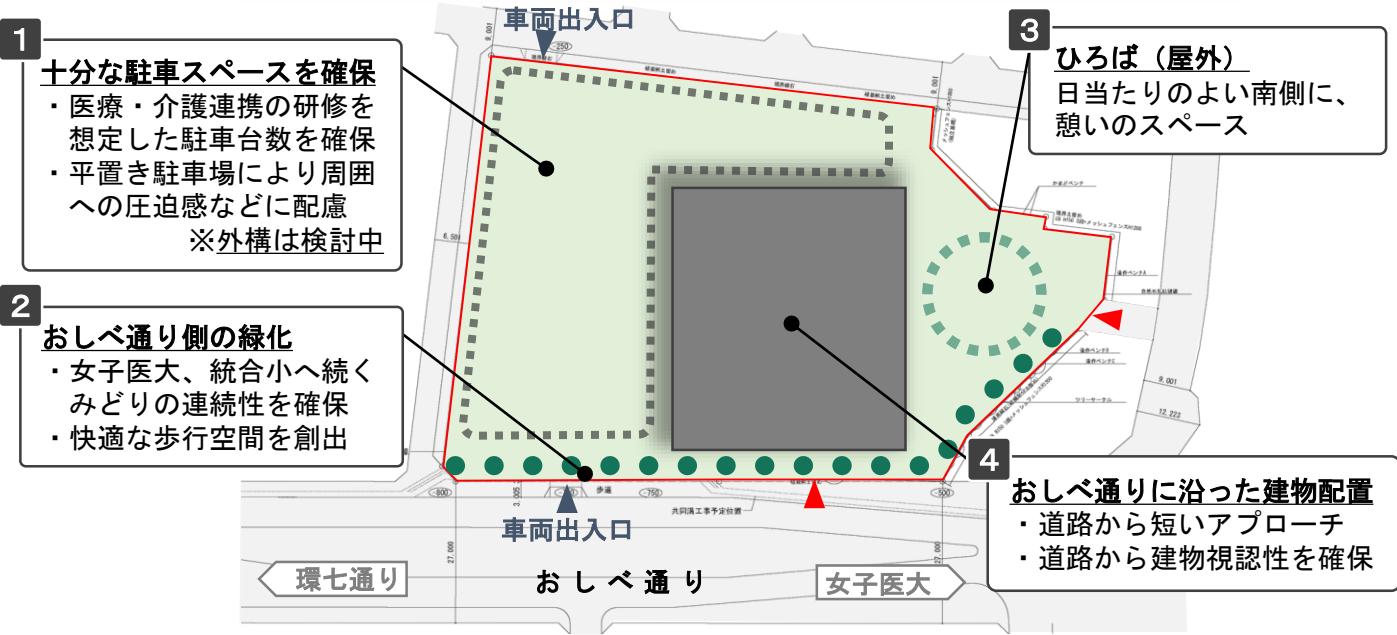
#### ポイント④ 高齢者



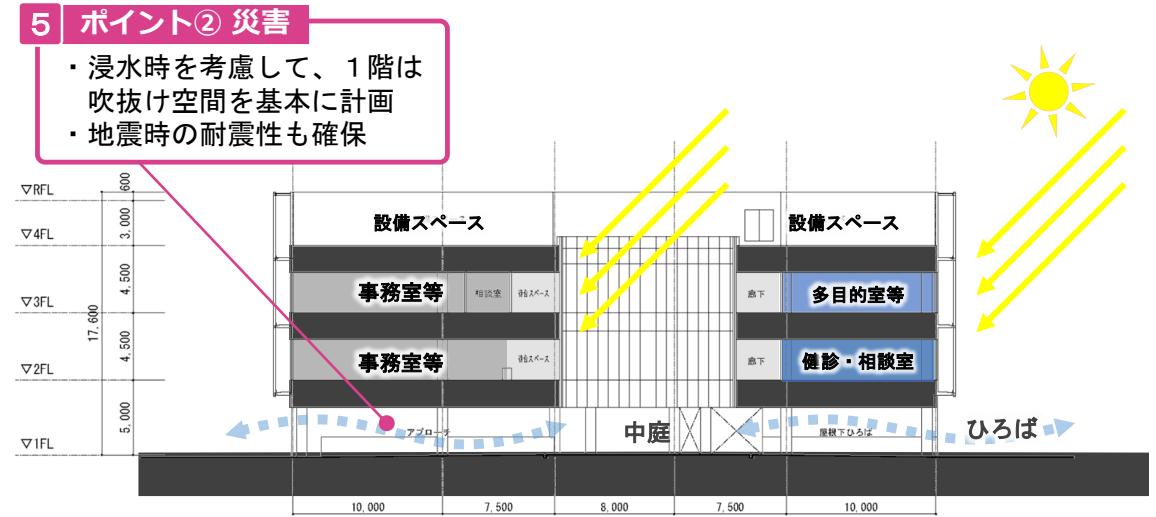
# 建築計画の概要

## 主な機能（階構成）

- 1階** 休日応急診療所、子育てサロン、多目的広場
- 2階** 江北保健センター
- 3階** 医療介護連携拠点
- 屋上** 倉庫、設備スペース



建物配置イメージ



断面イメージ

## 1階 休日応急診療所、子育てサロ

## 2階 江北保健センター

## 3階 医療・介護連携拠点

- 6** ポイント① 感染症  
・一般患者と感染症が疑われる患者の診察室や動線をわける  
・感染症診療室は陰圧管理、クリーンパーテーションを導入し、非常時の対応を強化する

